

「FXTF\_CCI\_signal」は、標準のCCI（商品チャンネル指数）に視覚的に売買シグナルが分かる機能を追加したインディケータです。FXTF MT4では初期設定で利用できます。

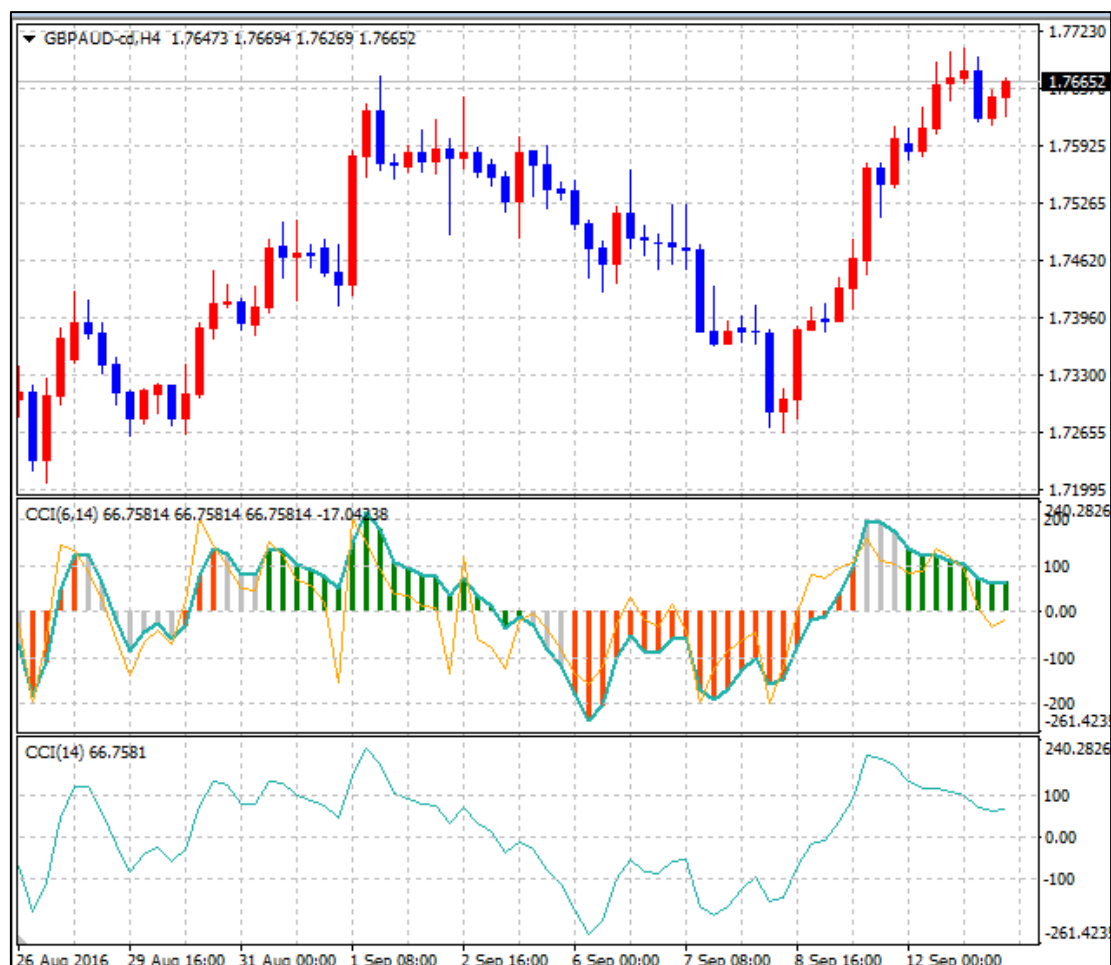
## 「FXTF\_CCI\_signal」とは

「FXTF\_CCI\_signal」は、MT4標準のCCI (Commodity Channel Index : 商品チャンネル指数) に視覚的な売買シグナルを追加したインディケータです。

「FXTF\_CCI\_signal」の14期間CCIによるゼロ・ライン抜けから「6本経過したところを売買シグナルとする」という考え方は、CCIの使い手として有名なKen WoodによるWoodie's CCIに含まれる手法のひとつです。

▼例) 「FXTF\_CCI\_signal」と標準のCCI

上側のサブウィンドウに表示したのが「FXTF\_CCI\_signal」で、下側に表示しているのがMT4標準のCCIインディケータです。

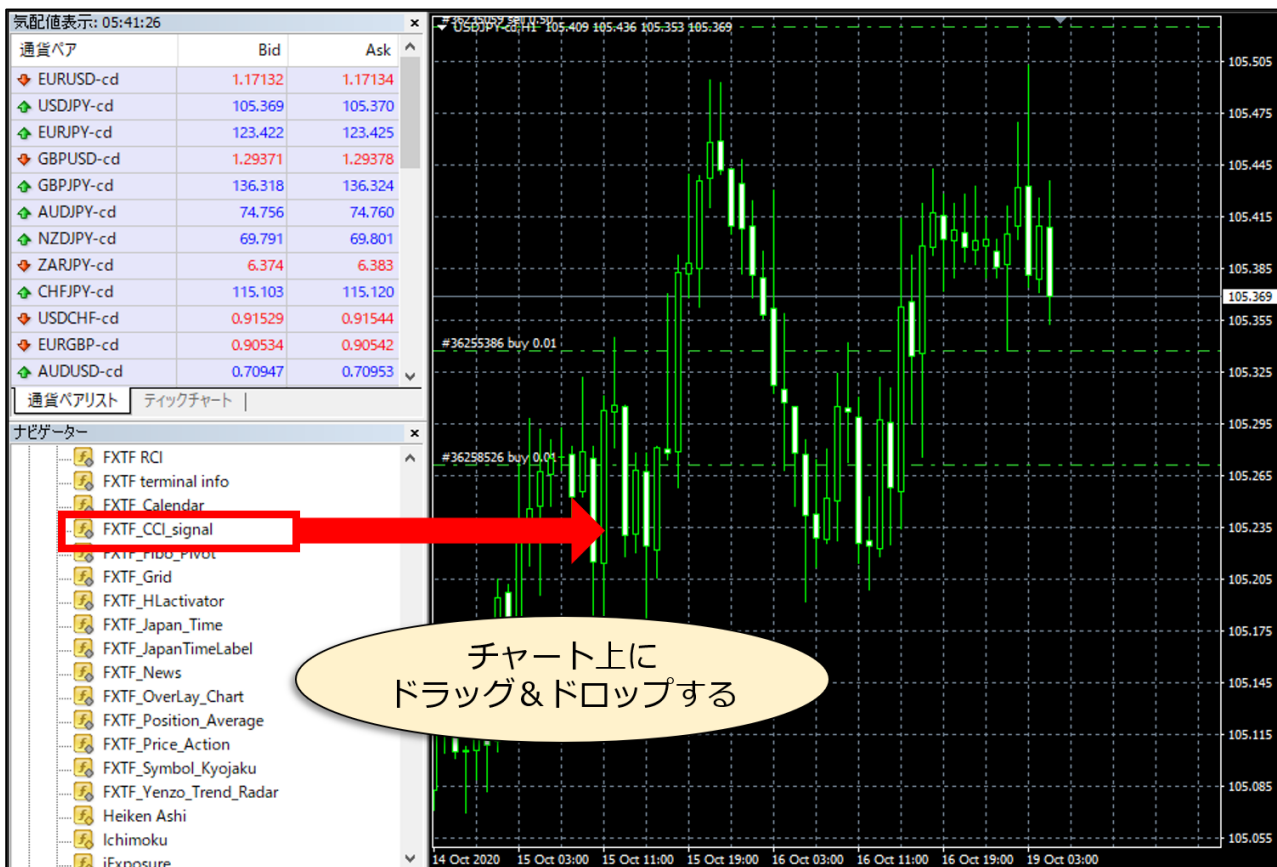


### 【注意点】

本インディケータは「FXTF MT4 PCインストール版」専用です。他社の提供するMT4上では稼動しませんのでご注意ください。また、スマホアプリで使用することもできません。

## 「FXTF\_CCI\_signal」の表示方法

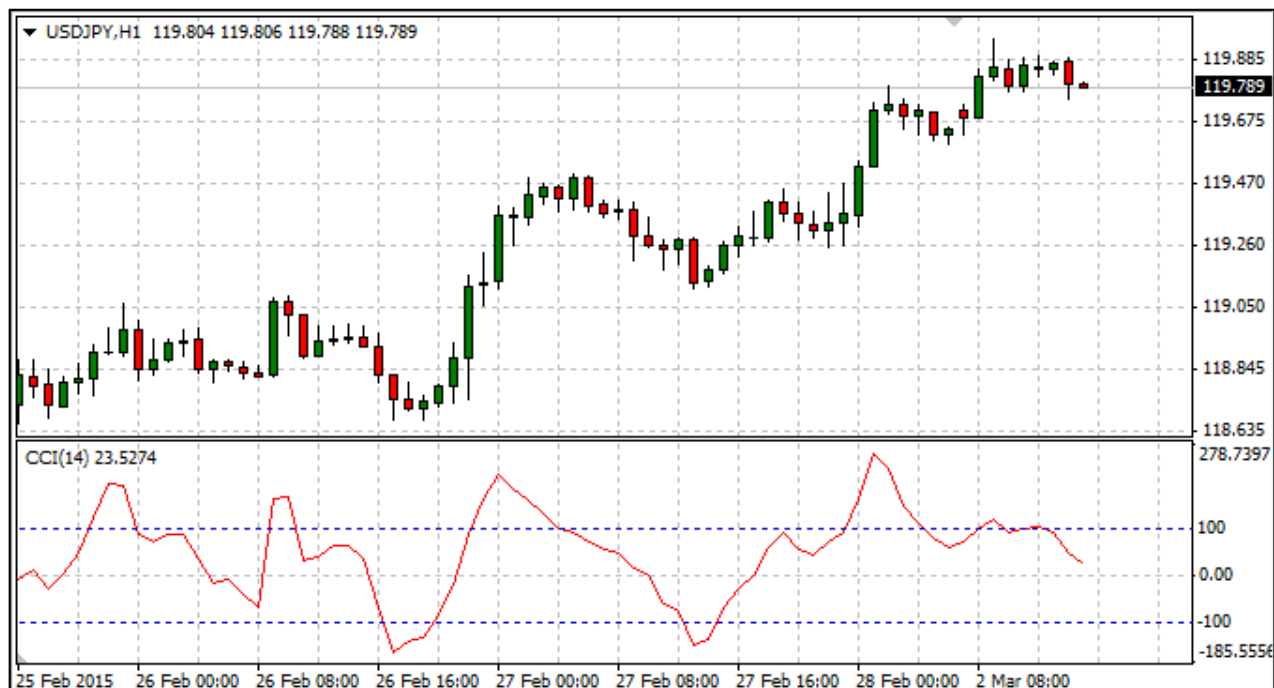
ナビゲーターウィンドウの「インディケータ」からインディケータを選んでチャート上にドラッグ&ドロップすることで、チャートに表示することができます。



## MT4標準のCCI

CCI（商品チャネル指数、Commodity Channel Index）は、価格の統計的な平均価格からの偏差を計測するインディケータです。

## ▼例) MT4標準のCCI



CCIの値が大きい場合、その価格が平均価格と比較して異常に高いことを示し、小さい場合は価格が低すぎることを表します。CCIはどの金融商品にも適用可能で、商品（コモディティ、Commodity）専用ではありません。

CCIは例えば、相場の買われ過ぎ/売られ過ぎを見る指標として活用することができます。CCIは通常、 $\pm 100$ の範囲で変化しますが、値が $+100$ を超えると、買われ過ぎの状態を示します。逆にこの値が $-100$ を下回ると、売られ過ぎの状態を示します。

## 「FXTF\_CCI\_signal」

## 「FXTF\_CCI\_signal」の売買シグナルについて

「FXTF\_CCI\_signal」では、MT4標準のCCIと同じ14期間のCCIのほか、短期の6期間CCI（下図ではオレンジの細いライン）を表示します。

また、ゼロラインより上の状態が6期間続けば（過去8本中6本以上がゼロより上）緑のラインがあらわれ、ゼロラインより下の状態が6期間続けば（過去8本中6本以上がゼロより下）赤のラインがあらわれます。



CCIより先に反転  
(トレンド反転の前兆)

## 「FXTF\_CCI\_signal」の売買シグナルについて

## ▼新規の売買シグナル

- ・緑のラインが出現→新規買い注文
- ・赤のラインが出現→新規売り注文

## ▼決済シグナル

トレンドが反転し、ゼロラインをクロスしたら保有ポジションを決済します。

- ・新規買い注文発注後、CCIがゼロラインを上から下にクロスしたら決済
- ・新規売り注文発注後、CCIがゼロラインを下から上にクロスしたら決済

## ▼参考シグナル

- ・6期間の短期のCCI(細いライン)は14期間のCCIよりも先に反転し、トレンド反転の前兆として捉えることができます。

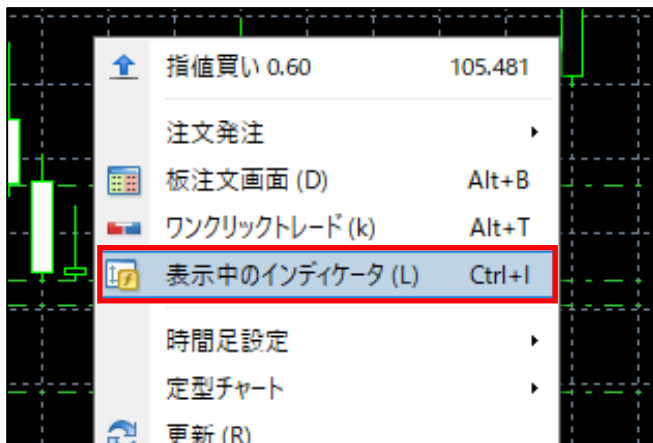
「FXTF\_CCI\_signal」の14期間CCIによるゼロ・ライン抜けから「6本経過したところを売買シグナルとする」という考え方は、CCIの使い手として有名なKen WoodによるWoodie's CCIに含まれる手法のひとつです。Ken WoodによるWoodie's CCIの使い方については、自身のサイト上で日本語のマニュアルが公開されています。

## パラメータの初期設定／設定の変更・編集

「FXTF\_CCI\_signal」は、パラメーター設定を変更することで各種のカスタマイズが可能です。

### ▼パラメータ設定ウィンドウを開く方法

チャートの右クリックメニュー「表示中のインディケータ」⇒「FXTF\_CCI\_signal」を選択した状態で「編集」ボタンをクリックするとパラメータ設定ウィンドウが開きます。

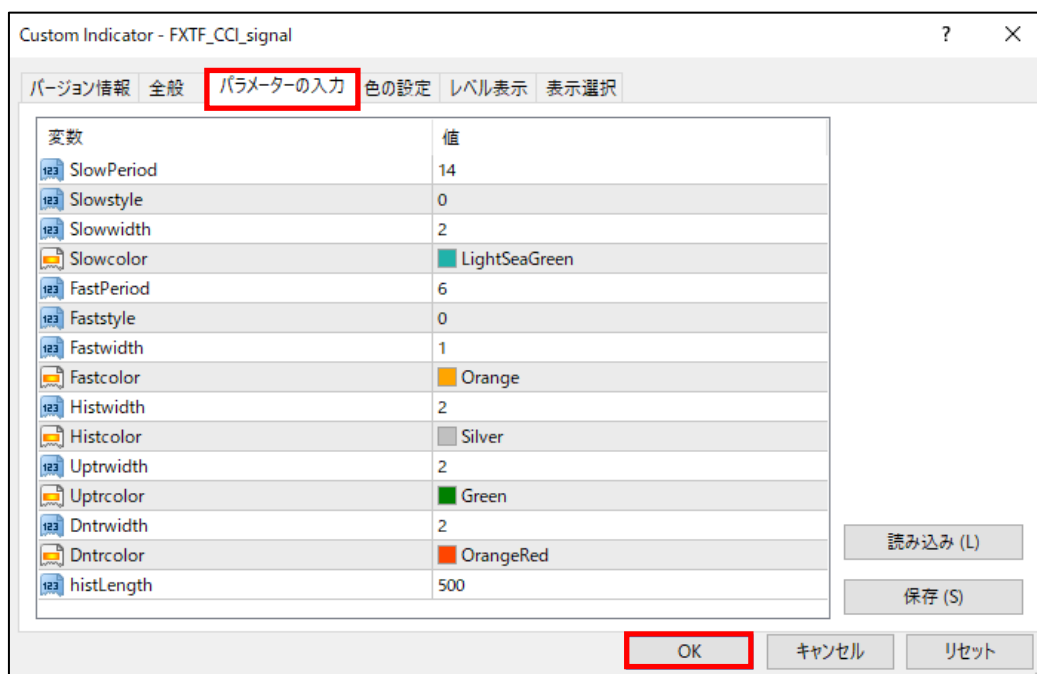


## パラメータ設定ウィンドウの見方

各項目について、詳細を説明します。

### ▼パラメーター設定ウィンドウ > タブ「パラメーターの入力」

設定変更後、OKボタンをクリックしてウィンドウを閉じると設定が反映されます。



## 「FXTF\_CCI\_signal」

SlowPeriod	CCIの期間を設定します。
	初期設定は「14」です。 ※通常、変更する必要はありません。
Slowstyle	CCIのラインスタイルを設定します。
	初期設定は「0」（実線）です。 ※0：SOLID（実線）、1：DASH（長音線）、2：DOT（単音線）、3：DASHDOT（長音線と短音線）、4：DASHDOTDOT（長音線と短音線・短音線）の中から選択して設定できます。
Slowwidth	CCIラインの太さを設定します。
	初期設定は「2」です。
Slowcolor	CCIラインのカラーを設定します。
	初期設定は「LightSeaGreen」です。
FastPeriod	短期CCIの期間を設定します。
	初期設定は「6」です。 ※通常、変更する必要はありません。
Faststyle	短期CCIのラインスタイルを設定します。
	初期設定は「0」（実線）です。 ※0：SOLID（実線）、1：DASH（長音線）、2：DOT（単音線）、3：DASHDOT（長音線と短音線）、4：DASHDOTDOT（長音線と短音線・短音線）の中から選んで設定できます。
Fastwidth	短期CCIラインの太さを設定します。
	初期設定は「1」です。
Fastcolor	短期CCIラインのカラーを設定します。
	初期設定は「Orange」です。
Histwidth	ヒストグラムの通常ラインの太さを設定します。
	初期設定は「2」です。
Histcolor	ヒストグラムの通常ラインのカラーを設定します。
	初期設定は「Silver」です。
Uptrwidth	ヒストグラムの上昇ラインの太さを設定します。
	初期設定は「2」です。

## 「FXTF\_CCI\_signal」

Uptrcolor	ヒストグラムの上昇ラインのカラーを設定します。
	初期設定は「Green」です。
Dntrwidth	ヒストグラムの下降ラインの太さを設定します。
	初期設定は「2」です。
Dntrcolor	ヒストグラムの下降ラインのカラーを設定します。
	初期設定は「OrangeRed」です。
histLength	CCIを過去どのくらい遡って表示するかを設定します。
	初期設定は「500」です。 ※大きすぎる値を設定すると、処理に時間がかかりMT4の動作が遅くなったりフリーズする可能性がありますのでご注意ください。

当ツールは、お取引の参考となる情報の提供を目的とするもので、投資方針や時期選択などの最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。